

令和 3年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報				
事務事業名		市民の提案事業		担当課 秘書課
総合計画	政策	みんなで築くまち		計画期間 平成 5年度～
	施策	広聴と情報発信の充実		種別 任意的事務
	基本事業	広聴・情報公開の充実		市民協働
予算科目コード		01-020101-25 単独	根拠法令・条例等	

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？	
背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）
市民の市政への参加促進を目的として、まちづくりに対するアイデアや各種の提案、要望、意見等を行政に反映させるために開始した。	市民からも行政に対する意見・提案を広く求め、市民のニーズを把握するとともに、市政への参加意識を高める。 意見・提案に対しては、担当課が内容を調査・検討等を経て回答する。 意見・提案の聴取手段は、「私の提案」の封書、市の7施設に設置した「投書箱」、市ホームページの「ご意見・ご提案」入力フォームなどによる。 市からの回答は、原則1か月以内に提案者に対して行う。
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
市民に対し、市政に対する意見・提案を広く求め把握するとともに、市政への参加を促す。	
（参考）基本事業の目指す姿	
行政に意見や提案を伝える場や機会が十分にあることを市民が把握できるようにする。 市の施策や計画等について、市民からの意見を取り入れるなど、内容を知る（情報公開）機会を多くする。	

事業の課題認識，改善の視点（次年度にどう取り組むか）	
目的達成のための課題（問題点，現状分析，課題設定）	具体的内容とスケジュール
「私の提案」に寄せられる内容の大半が、各担当課への問い合わせ内容となっており、市民からの「ご意見・ご提案」が市政に反映するといった目的には至っていない。また、寄せられた各担当課への問い合わせ内容の回答作成に要する業務の負担が増加している。	●提案等と各課への問い合わせ内容の区分をし、市ホームページに反映する。 ●私の提案事業を市政に反映できる仕組みの検討 例えば、「提案」の調査検討する合議体を組織し、結果を報告する仕組みをつくる
改善内容（課題解決に向けた解決策）	
現在、「私の提案」に寄せられている大半は、市ホームページからの各担当課への問い合わせ内容となっていることから、市政への提案等と各課への問い合わせ内容の区分をするとともに、「私の提案」事業を市政に反映できる仕組み等を改善する必要がある。	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
☐ 増加 ☒ 維持 ☐ 削減	現在も、私の提案管理システムの管理料のみであり、削減の余地はない。

R02年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（R03年度の振り返り）	
R02年度の評価（課題）	R03年度 of 取組（評価、課題への対応）
「私の提案」に寄せられる意見等は、各課への業務に関する問い合わせ内容や、個人的な要望に近いものなどが大半を占めており、市民の意見を市政に反映するとする目的に至っていない。また、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、新型コロナウイルスに関連するご意見等が増加し、振り分けや回答の取りまとめに要する秘書課の業務負担が増加した。 例年10月頃に実施していた広報もりやへの「私の提案用紙」の折り込みを廃止した。廃止に伴い、広報もりやで「私の提案」に関する投書箱や市ホームページからの投稿についての案内を掲載した。	私の提案に寄せられる意見等は、主に市ホームページからの投稿となっている。ホームページの「私の提案」入力フォームでは、氏名、住所を必須項目としていないことから匿名の意見・提案が増え、全体の案件も増加する要因と考えられる。また、送信者が市民か否かの判別もできない。これらに対応するため2月に「私の提案」入力フォームを「回答希望」「回答不要」のフォームに変更した。「回答希望」の場合は、氏名・住所・アドレス等を必須項目とし、匿名でのご意見の場合には、「回答不要」フォームを利用するよう変更した。

評価（指標の推移、今後の方向性）							
指標名	基準値（H26）	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	目標値（R03）
提案・意見の件数（件）	662.00	164.00	151.00	225.00	278.00	241.00	0.00
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
成果の動向（→その理由）							
☐ 向上 ☒ 横ばい ☐ 低下	市民からの意見・提案の件数は、新型コロナウイルスに関連するご意見が減少したことから、昨年度より減っているが、ここ数年の推移から見ても成果は横ばいと考えられる。						
今後の事業の方向性（→その理由）							
☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 維持 ☒ 改善・効率化 ☐ 統合 ☐ 廃止・終了	「私の提案」事業を本来の目的とするため、例えば「提案」の調査検討する合議体を組織し、結果を報告する仕組みを検討するとともに、提案等と各課への問い合わせ内容の区分を明確にすることで業務内容を改善していく。						

コストの推移						
項目		R01年度決算	R02年度決算	R03年度決算	R04年度予算	R05年度見込
事業費	計	195	132	132	135	0
	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	195	132	132	135	0
正職員人工数（時間数）		304.00	298.00	415.00	0.00	0.00
正職員人件費		1,247	1,206	1,606	0	0
トータルコスト		1,442	1,338	1,738	135	0

令和 3年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報				
事務事業名		審議会等公開制度事務		担当課 総務課
総合計画	政策	みんなで築くまち		計画期間 平成16年度～
	施策	広聴と情報発信の充実		種別 任意的事務
	基本事業	広聴・情報公開の充実		市民協働
予算科目コード		01-020101-04 単独	根拠法令・条例等	

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？	
背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか） 会議開催 1 週間前までに、市のホームページ及び庁舎掲示板に会議の開催案内を掲載する。 会議開催後、会議録及び会議資料を市のホームページに掲載する。
市の施策や計画等について、その形成過程や内容を知る機会（情報公開）を設けることで、市民の市政への理解を深めてもらう。	
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
市民に対して審議会等の会議や会議録等を公開することにより、市政の透明性や公平性を高め、市民の市政への参画を促す。	
（参考）基本事業の目指す姿	
審議会等の運営の透明性を高めるとともに、会議を公開することによって市民の市政に対する理解と信頼を深め、市民が自主的・主体的に市政へ参画できる機会を多くする。	

事業の課題認識、改善の視点（次年度にどう取り組むか）	
目的達成のための課題（問題点、現状分析、課題設定）	具体的内容とスケジュール
公開した会議の開催数や傍聴者数を増加させることは難しいことから、審議会等の会議録をスピーディに市民に公開・周知することを主眼とする。	令和 2 年度から指標を変更する。
改善内容(課題解決に向けた解決策)	
評価の基準となる指標を次のように変更する。 公開した会議の開催数，傍聴者数 →公開した会議の会議録を開催日から 1 箇月以内に公表した会議数（％）	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
☐ 増加 ☒ 維持 ☐ 削減	

R02年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（R03年度の振り返り）	
R02年度の評価（課題）	R03年度を取組（評価、課題への対応）
審議会等の会議録をスピーディに市民に公開・周知することを主眼とするため、指標値を公開した会議の会議録を開催日から1箇月以内に公表した会議数（%）とした。	会議録システムの活用を図る。

評価（指標の推移、今後の方向性）							
指標名	基準値（H26）	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	目標値（R03）
公開した会議の会議録を開催日から1箇月以内に公表した会議数（％）	0.00	0.00	18.00	26.00	44.00	34.15	0.00
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
成果の動向（→その理由）							
☐ 向上 ☒ 横ばい ☐ 低下	依然、会議録をホームページに掲載するまでに時間を要している部署が多くあるので、さらなる会議録システムの周知及び活用を図りたい。また、早めの会議録掲載を職員に意識づけるため、申請時に周知する。						
今後の事業の方向性（→その理由）							
☐ 拡大 ☐ 縮小 ☒ 維持 ☐ 改善・効率化 ☐ 統合 ☐ 廃止・終了	依然、会議録をホームページに掲載するまでに時間を要している部署が多くあることから、引き続き、迅速な審議会の会議結果等の公開に努める。また、早めの会議録掲載を心がけるよう周知し、市民の市政への理解と信頼を深めていく						

コストの推移						
項目		R01年度決算	R02年度決算	R03年度決算	R04年度予算	R05年度見込
事業費	計	0	0	79,272	107,368	107,368
	国・県支出金	0	0	0	2,469	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	2,413	0
	一般財源	0	0	79,272	102,486	107,368
正職員人工数（時間数）		66.00	18.00	73.00	0.00	73.00
正職員人件費		271	73	282	0	0
トータルコスト		271	73	79,554	107,368	107,368